

学習指導要領		北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>A 話すこと・聞くこと</p>	<p>ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。</p> <p>イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。</p> <p>ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。</p> <p>エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p>	<p>目的や場に応じて、わかりやすく適切な言葉で話したりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内容に関するスピーチで、何のために誰に向かって話すのかを考え、適切な大きさで言葉を選んで話すことができる。 <p>自己評価や相互評価を通して、自分の話し方や言葉遣いを見直し、自分とは異なるものの見方、感じ方、考え方に気づくことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手や場に応じた語句の使い方について、自己や他者の良い点、直すべき点に気づくことができる。

学習指導要領		北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>B 書くこと</p>	<p>ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。</p> <p>イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。</p> <p>ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。</p>	<p>誰に向かって何のために書くのか考え、題材や文章の形態にふさわしい文体や語句を用いて書くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・与えられた題材に即して、自分が考えていることを的確に表現できる。 <p>説明や描写の違いなどを知り、相手や目的を意識した表現の仕方を書くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事実や事柄を具体的に説明できる。 ・手順や理由などを順序だてて説明することができる。

学習指導要領		北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>C 読 む こ と</p>	<p>エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p> <p>ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。</p> <p>イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。</p>	<p>【現代文】 文章の形態（小説・評論・随想）における表現の特色を意識しながら読むことができる。 ・小説の表現を音読して味わうことができる。</p> <p>【古典】 〈古文〉 比較的平易な文章について、文章の形態の違いを知り、表現技法や語句の使い方に注意して読むことができる。 ・歴史的仮名遣いに注意して音読することができる。 ・現代と意味の違う古語に気を付けて読むことができる。 ・物語、随筆などのジャンルの違いを意識して、それぞれの作品を読むことができる。</p> <p>〈漢文〉 ・漢文の基本的なきまり（訓点・再読文字・置き字）に従って音読することができる。 ・漢詩のなきまりを理解する。</p> <p>【現代文】 文脈を捉え、筆者の考えを読み取ることができる。 ・文章中のキーワードを指摘することができる。 ・文章中の指示語や接続詞を意識して読むことができる。</p> <p>【古典】 比較的平易な文章を傍訳などの助けを得ながら、読み取ることができる。 〈古文〉 ・古文と現代文の違いを意識しながら、文章を読み取ることができる。 〈漢文〉 ・訓点や助字、置き字（而・於）に注意して、文章</p>

学習指導要領	北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p>	<p>を読み取ることができる。</p> <p>【現代文】 登場人物を押さえ、行動や性格、心情の変化を捉えることができる。 小説などで、 ・各場面で登場人物の言動や心情などを読み取ることができる。</p> <p>・比喻表現から状況や心情を捉えることができる。</p> <p>【古典】 比較的平易な文章の場面や人物を押さえ、誰がどうしたという流れを読み取ることができる。</p> <p>〈古文〉 ・人物（誰が）、場面（いつ、どこで）、出来事（何を、どうした）を読み取ることができる。 ・心情を理解することができる。</p> <p>〈漢文〉 説話文を読んで、 ・人物（誰が）、場面（いつ、どこで）、出来事（何を、どうした）を読み取ることができる。</p> <p>漢詩を読んで、 ・詩に読まれた心情を読み取り、人生について考えを深める。</p> <p>様々な形態・内容・分野の本や文章を読み、そこから得た情報を評価し、自分の考えをもつことができる。 ・読んだ本や文章から、必要な情報を読み取り利用することができる。 ・読んだ文章を評価することを通して、自分とは異なるものの見方、感じ方、考え方に気付くことができる。</p>

学習指導要領	北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。</p> <p>オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。</p>	<p>日本の伝統的な言語文化について基本的な事柄を知り、また外国の文化の影響に気付くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な古典知識（月の異名、十二支など）を知る。 ・中国の文字や書物の影響のうち基本的なもの（故事成語など）を知る。 <p>基本的な文語のきまり、訓読のきまりを理解し、文章の音読や読解を行うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いを理解する。 ・訓点や基本的な再読文字（未・将など）、置き字（於・而など）、句法（否定・使役など）について理解し、訓読したり書き下し文に改めたりすることができる。 <p>【現代文】</p> <p>語句、語彙の構造的な仕組みとしての成り立ちについて基本的な事柄を知り、また、他の言語との比較から明らかになる表現の特色や、社会における言語の役割について基本的な事柄に気付き、活用することができる。</p>

学習指導要領		北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>伝 統 的 な 言 語 文 化 と 国 語 の 特 質 に 関 す る 事 項</p>	<p>ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p> <p>(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p> <p>イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 (ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。</p>	<p>《具体的な設定例》 ・熟語の構成における主述関係や修飾、被修飾の関係などを理解する。</p> <p>【古典】 言葉の歴史的な成り立ちと変遷、語彙の歴史的な経緯について基本的な事柄を知る。 《具体的な設定例》 ・歴史的仮名遣いを理解して古文を正しく読むことができる。 ・基本的な古今異義語（うつくし・をかしなど）の意味の違いを知る。</p> <p>【現代文】 文の成分や文章の構成、語句の意味、用法及び表記の仕方などについて基本的な事柄を知り、活用することができる。 《具体的な設定例》 ・比較的平易な文章について、語句の意味・用法を理解する。</p>

学習指導要領	北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>(イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。</p>	<p>常用漢字の大体を読み、学年別漢字配当表（中学校3年間で学習する漢字）1013字を書くことができ、文章の中で使うことができる。</p>

学習指導要領	北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>ウ 漢字に関する事項 (ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。</p>	

学習指導要領		都立北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>(1) ア 自然環境と歴史</p> <p>世界史へのいざな</p> <p>イ 日本列島の中の世界の歴史</p> <p>い 日本列島の中に見られる世界との関係や交流について、人、もの、技術、文化、宗教、生活などから適切な事例を取り上げ、年表や地図などに表す活動を通して、日本の歴史が世界の歴史とつながっていることに気付かせる。</p>	<p>歴史の舞台としての自然環境について、河川、海洋、草原、オアシス、森林などから適切な事例を取り上げ、地図や写真などを読み取る活動を通して、自然環境と人類の活動が相互に作用し合っていることに気付かせる。</p> <p>日本列島の中に見られる世界との関係や交流について、人、もの、技術、文化、宗教、生活などから適切な事例を取り上げ、年表や地図などに表す活動を通して、日本の歴史が世界の歴史とつながっていることに気付かせる。</p>	<p>・年代の扱い方、紀年法、暦について理解する。古代文明の発生・滅亡の理由や原因や考察し、自分の考えをまとめる。</p> <p>【人類の始まり】</p> <p>・人類の登場と、農耕・牧畜による食料生産を基礎にして、人類が文明を築き、歴史時代へはいつていくありさまを地域ごとに概観し、各地域世界が形づくられていく過程を理解する。</p> <p>【世界の諸地域の文明】</p> <p>・東アジアの風土、諸民族、封建制度、漢字文化圏、儒教思想、律令体制、文治主義、冊封体制などを通して、日本を含む東アジアの文明の特質を理解する。</p> <p>【アジアや北アフリカの文明】</p> <p>・南アジア、西アジア・北アフリカの風土と諸民族、宗教的な特徴、伝統などから諸地域の文明に就いて理解する。</p> <p>【ヨーロッパの文明】</p> <p>・ヨーロッパの風土と諸民族、ギリシア・ローマ文明の伝統、キリスト教の発展、封建社会などを通して、ヨーロッパの文明の特質を理解する。</p>
<p>(2) ア ユーラシアの諸文明</p> <p>世界の一体化と日本</p> <p>自然環境、生活、宗教などに着目させながら、東アジア、南アジア、西アジア、ヨーロッパに形成された諸文明の特質とユーラシアの海、陸における交流を概観させる。</p>	<p>自然環境、生活、宗教などに着目させながら、東アジア、南アジア、西アジア、ヨーロッパに形成された諸文明の特質とユーラシアの海、陸における交流を概観させる。</p>	<p>・東アジアの風土、諸民族、封建制度、漢字文化圏、儒教思想、律令体制、文治主義、冊封体制などを通して、日本を含む東アジアの文明の特質を理解する。</p> <p>【アジアや北アフリカの文明】</p> <p>・南アジア、西アジア・北アフリカの風土と諸民族、宗教的な特徴、伝統などから諸地域の文明に就いて理解する。</p> <p>【ヨーロッパの文明】</p> <p>・ヨーロッパの風土と諸民族、ギリシア・ローマ文明の伝統、キリスト教の発展、封建社会などを通して、ヨーロッパの文明の特質を理解する。</p>

学習指導要領	都立北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>イ 結び付く世界と近世の日本 大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアの接触と交流、アジアの諸帝国とヨーロッパの主権国家体制、大西洋世界の展開とアフリカ・アメリカ社会の変容を扱い、16世紀から18世紀までの世界の一体化の動きと近世の日本の対応を把握させる。</p> <p>ウ ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成 産業革命と資本主義の確立、フランス革命とアメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展を扱い、ヨーロッパ・アメリカにおける工業化と国民形成を理解させる。</p> <p>エ アジア諸国の変貌と近代の日本 ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容、その中での日本の動向を扱い、19世紀の世界の一体化と日本の近代化を理解させる。</p> <p>ア 急変する人類社会 科学技術の発達、企業や国家の巨大化、公教育の普及と国民統合、国際的な移民の増加、マスメディアの発達、社会の大衆化と政治や文化の変容などを理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの社会の変化について、人類史的視野から考察させる。</p> <p>イ 世界戦争と平和 帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、二つの世界大戦の原因と総力戦としての性格、それらが世界と日本に及ぼした影響を理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの世界の動向と平和の意義について考察させる。</p>	<p>【大航海時代と新たな国家の形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ルネサンスと宗教改革、新航路の開拓などにふれ、16世紀頃から始まった世界の一体化への動きと新たなヨーロッパの枠組みとなった主権国家体制の形成について理解する。またアジアの繁栄についても理解する。 アメリカ諸国の独立、フランス革命、産業革命、拡大する貿易活動などを通して、西ヨーロッパとアメリカに産業社会が成立し、市民社会および国民国家の形成が進行したことを理解する。 交通革命、マス=メディアの発達、企業や国家の巨大化、社会の大衆化と政治や文化の変容、公教育の普及と国民統合などを通して、20世紀という時代の特質を把握するとともに、欧米諸国によるアジア・アフリカの植民地化をめぐる競合と人口移動から、世界の支配・従属関係を伴う一体化と社会の変容を理解する。 第一次世界大戦と総力戦としての様相、ロシア革命、ソヴィエト連邦の成立、戦争と革命による国際秩序の変化、アメリカの大衆生活とその波及を通して、20世紀初頭の変化の様相を理解する。 第二次世界大戦の原因や総力戦としての性格、それらが及ぼした影響を理解し、平和の意義などについて考察する。2部1章2節とあわせて20世紀前半の国際政治の流れを概観し、国際関係の変遷と社会の特質を理解する。

学習指導要領	都立北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>ウ 三つの世界と日本の動向</p> <p>第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立と日本の動向、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解させ、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察させる。</p> <p>エ 地球社会への歩みと課題</p> <p>1970年代以降の市場経済のグローバル化、冷戦の終結、地域統合の進展、知識基盤社会への移行、地域紛争の頻発、環境や資源・エネルギーをめぐる問題などを理解させ、地球社会への歩みと地球規模で深刻化する課題について考察させる。</p> <p>オ 持続可能な社会への展望</p> <p>現代世界の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、歴史的観点から資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立，アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解し，核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察する。1970年代以降は市場経済の世界化をはじめ，米ソのゆらぎや冷戦の終結などから，世界が大きく変容し，今日に至っていることを理解する。 ・冷戦終結後の世界の政治・経済の動向について理解するとともに，日本が世界の諸国・諸地域と多様性を認め合いながら共存する方向を模索し，国際社会における日本の役割について考察する。

学習指導要領		都立北豊島工業高校 学カスタンダード
(3) 地球 社会 と 日本		

学習指導要領		都立北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>(1) 私たちの時代と歴史</p>	<p>現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史的事象と現在との結び付きを考える活動を通して、歴史への関心を高め、歴史を学ぶ意義に気付かせる。</p> <p>開国前後から第二次世界大戦終結までの政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向について、相互の関連を重視して考察させる。</p>	<p>卒業後、職業人として求められる基礎教養として、近現代史を中心に学習し、現代日本との結び付きに気付くことで、自らが歴史の当事者であることを自覚させる。</p> <p>[近代以前の歴史]</p> <ul style="list-style-type: none"> 古代から近現代までの各時代の特色を知り、近現代までの大きな流れを理解させる。食文化などの身近な例から、現代を生きる我々の文化やものの考え方が、歴史的に形成されたものであることに気付く。
<p>(2) 近代の日本と世界</p>	<p>ア 近代国家の形成と国際関係の推移</p> <p>(ア) 近代の萌芽や欧米諸国のアジア進出、文明開化などに見られる欧米文化の導入と明治政府による諸改革に伴う社会や文化の変容、自由民権運動と立憲体制の成立に着目して、開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程について考察させる。</p> <p>(イ) 条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化、政党の役割と社会的な基盤に注目して、国際環境や政党政治の推移について考察させる。</p>	<p>[明治維新]</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国船の来航による幕藩体制の動揺と、経済的・文化的に力を蓄える庶民層の変化を知り、双方が日本の近代化の基盤となったことを知る。 ペリーの来航により開国し、日米修好通商条約が締結されたが、その内容が不平等であったことを知る。 開国後、国内に尊皇攘夷派と公武合体派の対立があったことを知るとともに、政情不安の中、民衆がどのような意識を持っていたのかを知る。 <p>[近代国家の確立]</p> <ul style="list-style-type: none"> 明治政府が富国強兵をスローガンに、中央集権化を図る背景を国際的事情から考察する。 明治維新の諸改革による士族層の没落が、士族反乱や自由民権運動につながったことを知る。 大日本帝国憲法の制定により、欧米諸外国以外で初めて立憲体制が整備されたことを知る。 <p>[対外関係の変化と政党政治の展開]</p> <ul style="list-style-type: none"> 明治政府が不平等条約改正に至った、国内的要因と、国際的背景を知る。 日清・日露戦争の背景と経過を理解し、日露戦争の勝利が、被植民地国家に与えた影響を知る。 国内で、民衆運動が政治を動かしたことを理解する。

学習指導要領	都立北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>イ 近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢 (ア) 産業革命の進行、都市や村落の生活の変化と社会問題の発生、学問・文化の進展と教育の普及、大衆社会と大衆文化の形成に着目して、近代産業の発展と国民生活の変化について考察させる。</p> <p>(イ) 諸国家間の対立や協調関係と日本の立場、国内の経済・社会の動向、アジア近隣諸国との関係に着目して、二つの世界大戦とその間の内外情勢の変化について考察させる。</p>	<p>[近代産業の発展と社会運動の展開]</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の産業革命が、政府主導であることや、繊維工業から技術革新が始まったことを知る。 工業化の発展により、公害や貧富の差など、さまざまな社会問題が発生したことを知る。 <p>[国民生活の変化と文化]</p> <ul style="list-style-type: none"> 明治・大正時代移行期の国民の生活の変化を知る。 <p>[第一次世界大戦と日本]</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本が第一次世界大戦を契機として国際社会で地位を高めたことを知る。 欧米とアジア諸国に対する外交の特色を知る。 対戦景気と工業分野を中心とした経済発展を知る。 <p>[第二次世界大戦と日本]</p> <ul style="list-style-type: none"> 恐慌の発生による社会不安の増大と、軍部の台頭の関連を理解する。 アメリカによる禁輸政策を背景に、日本が南方進出を図り、連合国と開戦した経緯を知る。 第二次世界大戦の経過と、日本の敗戦を知る。 <p>[日本の再出発]</p> <ul style="list-style-type: none"> 戦後、日本は連合国軍の占領下にあったことを知る。 東京裁判の目的と問題点を知る。 GHQによる五大改革の概要を知る。 GHQ草案を基に新たに制定された日本国憲法について、大日本帝国憲法と比較する。 西側陣営と東側陣営の対立（冷戦）が始まり、世界が東西対立（冷戦）に巻き込まれたことを知る。 サンフランシスコ平和条約により、日本が独立を回復したことを知る。 <p>[独立後の政治と対外関係]</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本は軍事面でアメリカに依存しつつ、高度経済成長を遂げて経済大国となったことを知る。 高度経済成長により社会構造や家族の携帯が変化したことや、公害などの社会問題の発生を知る。

学習指導要領	都立北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>ウ 近代の追究</p> <p>近代における政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向が相互に深くかかわっているという観点から、産業と生活、国際情勢と国民、地域社会の変化などについて、具体的な歴史的事象と関連させた適切な主題を設定して追究し表現する活動を通して、歴史的な見方や考え方を育てる。</p> <p>第二次世界大戦後の政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向について、現代の諸課題と近現代の歴史との関連を重視して考察させる。</p> <p>ア 現代日本の政治と国際社会</p> <p>占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察させる。</p>	<p>[現代日本の国民生活]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 雇用状況の変化と格差社会の出現について知る。 <p>国際社会の中で、日本が経済大国としてさまざまな分野で期待されていることを理解する。</p>

学習指導要領		都立北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>(3) 現代の日本と世界</p>	<p>イ 経済の発展と国民生活の変化 戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。</p>	

学習指導要領	都立北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>ウ 現代からの探究</p> <p>現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史にかかわる身の回りの社会的事象と関連させた適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その解決に向けた考えを表現する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身につけさせる。</p>	

学習指導要領		都立北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>(1) 私たちの生きる社会</p>	<p>現代社会における諸課題を扱う中で、社会の在り方を考察する基盤として、幸福、正義、公正などについて理解させるとともに、現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚させる。</p>	<p>「幸福、正義、公正」などの考え方が、現代社会の諸課題を考察するための基盤であることを知る。例えば、生命・情報・環境の問題では、様々な対立点があることを理解する。</p>
<p>(2) 現代社会と人間としての在り方生き方</p>	<p>現代社会について、倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際社会など多様な角度から理解させるとともに、自己とのかかわりに着目して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考察させる。</p> <p>ア 青年期と自己の形成</p> <p>生涯における青年期の意義を理解させ、自己実現と職業生活、社会参加、伝統や文化に触れながら自己形成の課題を考察させ、現代社会における青年の生き方について自覚を深めさせる。</p>	

・青年期とは、社会とかがわり合う中で自己を形成し、心理的、社会的な自立を遂げていくなど、自己を確立する基礎を培う重要な時期であることを理解する。また、青年期の意義について、心理的離乳、第二の誕生、境界人、第二反抗期などの言葉を使って、説明できる。

・青年期の課題として、自分らしい生き方・価値観を見付け、「自分とは何者であるか」を自覚するアイデンティティ（自我同一性）の確立があることを知る。また、自己実現につながる将来の職業生活について考察し、よりよく生きることの大切さを理解する。

・青年期の自己形成を図る上で、社会とのかかわりが重要であることを知るとともに、社会参加が自己実現の可能性を高めることについて、具体的事例などを踏まえて理解する。

学習指導要領	都立北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>イ 現代の民主政治と政治参加の意義 基本的人権の保障、国民主権、平和主義と我が国の安全について理解を深めさせ、天皇の地位と役割、議会制民主主義と権力分立など日本国憲法に定める政治の在り方について国民生活とのかわりから認識を深めさせるとともに、民主政治における個人と国家について考察させ、政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深めさせる。</p> <p>ウ 個人の尊重と法の支配 個人の尊重を基礎として、国民の権利の保障、法の支配と法や規範の意義及び役割、司法制度の在り方について日本国憲法と関連させながら理解を深めさせるとともに、生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等などについて考察させ、他者と共に生きる倫理について自覚を深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会契約説の基本的な考え方を理解し、民主政治と国家の在り方について、個人と国家の関係の視点から考察し、その原則が立憲主義であることを理解する。 ・日本国憲法が保障する基本的人権には、自由権、社会権、平等権などがあり、さらに自由権の内容として、人身の自由、精神の自由、経済活動の自由があることを理解する。 ・国民主権が民主政治の根幹であることを知り、現在の我が国の選挙制度の仕組みについて理解する。 ・主権者として参政権を行使するためには、自由権的人権が重要かつ不可欠であることを理解する。 <p>・我が国における平和主義の考え方について、日本国憲法前文や第9条を踏まえて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法第13条の「個人の尊重」について正しく理解し、個人の生命・自由及び幸福追求の権利は最大限尊重されなければならないことを知る。 ・法や社会規範が、私たちの生活のあらゆる領域にかかわっており、私たちの権利を守っていることを理解する。 ・司法制度の基本的な仕組みについて理解し、我が国では、同じ事件について三回まで裁判を受けることができる三審制を採用していることについて説明できる。また、司法制度改革の一環として裁判員制度が導入されたことを理解する。

学習指導要領	都立北豊島工業高校 学力スタンダード
<p>エ 現代の経済社会と経済活動の在り方</p> <p>現代の経済社会の変容などに触れながら、市場経済の機能と限界、政府の役割と財政・租税、金融について理解を深めさせ、経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察させる。また、雇用、労働問題、社会保障について理解を深めさせるとともに、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生命がかけがえのないものであることについて理解し、生命尊重の精神をあらゆる生活の中に生かしていくことが重要であることを知る。 ・社会生活を営む上で、自由・権利と責任・義務とは切り離すことのできない関係にあることを理解する。 ・人間は尊厳をもつかけがえのない人格として平等であり、他の人々の願いを自分の場合と同様に尊重することが必要であることを知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・現代の経済社会の変容について、産業構造や人々のライフスタイルの変化に着目して説明できる。 ・市場が需要と供給をつなぐ取引の場であり、需要と供給の均衡をもたらす「価格の自動調整機能」があることを、A. スミスの「見えざる手」という言葉を使用して説明できる。 ・財政とは、政府による経済活動であり、所得税や消費税といった租税を財源として成り立ち、社会保障費や地方交付税交付金などの歳出がまかなわれていることを理解する。 ・銀行などの金融機関が資金の融通を行うことで経済が成り立っていることや、日本銀行が発券銀行、銀行の銀行、政府の銀行の三つの働きをもつことを理解する。 ・戦後の我が国において実現された高度経済成長について理解し、経済成長が社会全体に与えた影響について説明できる。 ・日本国憲法に規定された勤労の義務や労働基本権について理解するとともに、非正規雇用の増加などに代表される現実の雇用・労働問題について知る。 ・病気やけが、加齢などによる生活不安、失業・労働災害・事故などに対して、国の責任として生活の保障する社会保障制度の意義や役割を理解する。中でも医療保険と年金保険については、それ

学習指導要領	都立北豊島工業高校 学力スタンダード
<p>オ 国際社会の動向と日本の果たすべき役割</p> <p>グローバル化が進展する国際社会における政治や経済の動向に触れながら、人権、国家主権、領土に関する国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献、経済における相互依存関係の深まり、地域的経済統合、南北問題など国際社会における貧困や格差について理解させ、国際平和、国際協力や国際協調を推進する上での国際的な組織の役割について認識させるとともに、国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について考察させる。</p>	<p>ぞれ国民皆保険、国民皆年金が整備されていることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人や企業が経済活動を行う上で、法的責任と社会的責任を担っていることや、私たち個人が社会生活を営むに当たり、環境保全や社会貢献に配慮した行動をとることが重要であることを理解する。 ・現代のグローバル社会が、人、商品、資本、情報などが国境を越えて自由に移動し、国際的な相互依存関係が深まる中で形成されてきたことを説明できる。 ・人権、国家主権、領土に関する国際法上の規定や、国際平和に向けた各国の協調的な取組が重要であることを知る。特に、北方領土、竹島、尖閣諸島が我が国固有の領土であることを知る。 ・国際社会における国際法の重要性について知るとともに、国際平和の実現や国際的な人権問題の解決に向けて、国際連合や非政府組織などの果たす役割が増大していることを理解する。 ・人種や民族の違いが、宗教や言語などの問題と結び付いて地域紛争を引き起こすことがあることを知る。また、グローバル化の進展とともに、文化や宗教などの違いを越えて、人類が共生に向けた努力を行うことが重要であることを理解する。 ・核兵器をめぐる現状と世界の軍縮への取組について理解するとともに、国際連合をはじめとする国際機関や非政府組織などが軍縮に取り組んでいることを知る。 ・現在の我が国の安全保障について理解するとともに、国際社会の平和と安全の維持において自衛隊が果たしている役割について知る。 ・世界的な規模で自由な経済活動が拡大していることや、国際経済問題の解決には地球規模での連携が必要であることを理解する。 ・グローバル化の進展とともに、国際的な経済の相互依存関係が深まっていることを理解し、欧州連

学習指導要領		都立北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>(3) 共に生きる社会を目指して</p>	<p>持続可能な社会の形成に参画するという観点から課題を探究する活動を通して、現代社会に対する理解を深めさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深めさせる。</p>	<p>合などの事例を踏まえて地域的経済統合の動きについて知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南北問題や南南問題などの国際的な経済問題の解決のためには、国際協調が必要であることを認識し、国際機関や非政府組織などの果たす役割の重要性について理解する。 <p>持続可能な社会の形成に参画することの重要性について理解し、「個人と社会の関係」、「社会と社会の関係」、「現役世代と将来世代の関係」のいずれかに注目して現代社会の諸課題について考察できる。</p>

学習指導要領		都立北豊島工業高校 学力スタンダード
<p>(1) 数と式</p> <p>ア 数と式の計算</p> <ul style="list-style-type: none"> 2次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりする。 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をする。 <p>イ 1次不等式</p> <ul style="list-style-type: none"> 1次方程式の意味や性質について理解し、1次方程式の解を求めたり1次方程式を事象の考察に活用したりする。 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、1次不等式の解を求めたり1次不等式を事象の考察に活用したりする。 <p>ウ 集合</p> <ul style="list-style-type: none"> 集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 整式の整理、及び加法・減法・乗法の基本的な計算ができる。 指数法則や乗法公式を使って展開ができる。 整式の特徴を踏まえた上で、工夫して展開ができる。 基本的な教科書の例題程度の因数分解ができるようになる。(くくり出し、因数分解の公式、たすき掛け、低次の文字について整理、文字の置換によるもの等)。 無理数の基本的な計算ができる。 分母の有理化ができる。 数を実数まで拡張することの意義を理解し、実数の分類ができる。 数直線の有用性を理解し、点の座標を言うことができる。 絶対値の定義を理解し、絶対値を正しくはずすことができる。 <ul style="list-style-type: none"> 方程式とその解の意味を理解し、1次方程式を解くことができる。 不等式とその解の意味を理解し、1次不等式を解くことができる。 連立不等式を解くことができる。 <ul style="list-style-type: none"> 集合に関する包含関係など、集合に関する基本的な事項を理解させる。 ド・モルガンの法則が理解できる。 命題の真偽が判定できる。 集合の包含関係と関連付けて、必要条件、十分条件、必要十分条件、逆・裏・対偶、背理法などの学習を通じ、論理的な思考力を伸ばす。 	
<p>(2) 2次関数</p> <p>ア 2次関数のグラフ</p> <ul style="list-style-type: none"> 事象から二次関数で表される関係を見いだす。また、二次関数のグラフの特徴について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 関数の意味を理解し、関数の値を求めることができる。 座標や1次関数について理解する。 $y = ax^2$ のグラフの特徴を理解する。 $y = ax^2$ のグラフを平行移動したグラフがかかる。 頂点、軸、グラフの凹凸を言うことができる。 $y = ax^2 + bx + c$ の右辺を $a(x-p)^2 + q$ の形に直すことができる。また、そのグラフがかかる。 	

学習指導要領		都立北豊島工業高校 学力スタンダード
<p>イ 2次関数の値の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> 2次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりする。 2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解するとともに、数量の関係を2次不等式で表し2次関数のグラフを利用してその解を求める。 <p>(3) ア 三角比</p> <p>図形と計量</p> <ul style="list-style-type: none"> 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解する。 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める。 <p>イ 三角形への応用</p> <ul style="list-style-type: none"> 正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求める。 三角比を平面図形や空間図形の考察に活用する。 <p>(4) データの分析</p> <p>ア データの分析</p> <ul style="list-style-type: none"> 四分位偏差、分散及び標準偏差等の意味について理解し、それらを用いてデータの傾向を把握し、説明する。 散布図や相関係数の意味を理解し、それらを用いて二つのデータの相関を把握し説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> 2次関数の最大値・最小値を求めることができる。 定義域に制限のある2次関数の最大値・最小値を求めることができる。 2次方程式を因数分解または解の公式を利用してとることができる。 2次関数のグラフとx軸との共有点のx座標を求めることができる。 2次関数のグラフを利用して2次不等式を解くことができる。 <ul style="list-style-type: none"> 三角比の定義を理解する。 三平方の定理を利用して、特定の角の三角比の値を求めることができる。 30° , 60° , 90° の三角比の値が言える。 三角比の表を利用することができる。 三角比の値を利用して、いろいろな長さを求めることができる。 鈍角までの三角比の相互関係について理解を深める。 三角比の相互関係、または幾何学的方法を用いて、三角比を求めることができる。 $90^\circ - A$の公式, $180^\circ - A$の公式を用いて、45° 以下の角の三角比で表すことができる。 拡張した三角比の定義を理解し、$0^\circ \sim 180^\circ$ までの9ケの角度の三角比が正しく言える。 三角比の値から、角の大きさが求められる。 <ul style="list-style-type: none"> 正弦定理を使って三角形の辺の長さを求めることができる。 余弦定理を使って三角形の辺の長さや角の大きさを求めることができる。 三角比を用いた三角形の面積の公式を使って、三角形の面積を求めることができる。 3辺の長さが与えられたときに、三角形の面積を求めることができる。 <ul style="list-style-type: none"> 平均値・最頻値・中央値について、理解する。 四分位範囲や、分散、標準偏差について理解する。 散布図や相関係数で表しながら、2種類のデータの相関関係を考察することができる。 	

教科：数 学 科目：数学 I

作成様式

学習指導要領		都立北豊島工業高校 学力スタンダード
(1) 式と証明 式と照 明 ・高 次 方 程 式	ア 式と証明 ・整式の乗法・除法、分数式の計算 三次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解をする。また、整式の除法や分数式の四則計算について理解し、簡単な場合について計算をする。 ・等式と不等式の証明 等式や不等式が成り立つことを、それらの基本的な性質や実数の性質などを用いて証明する。	<ul style="list-style-type: none"> ・3次の乗法公式及び因数分解の公式を理解すると共に、それらを用いて式の展開や因数分解ができる。 ・整式の除法ができるとともに、整式の除法の関係式が理解できる。 ・分数式の四則計算について理解し、簡単な計算をすることができる。 ・恒等式、等式の証明、不等式の基本性質を用いた式の証明や相加平均・相乗平均の関係などの理解を深めさせる。 ・負の数の平方根を考えることにより、数の範囲を実数から複素数の範囲まで拡張する。 ・複素数の四則計算ができるようになる。 ・2次方程式の解を判別することができる。 ・2次方程式の解と係数の関係が理解でき、利用することができる。 ・2次式を複素数の範囲で因数分解することができる。 ・剰余の定理・因数定理について理解し、因数定理を用いて3次式を因数分解することができる。 ・簡単な高次方程式を、因数分解（因数定理を含む）を用いて解くことができる。 ・直線や円で分けられる領域と不等式の関係が理解できる。 ・連立不等式の表す領域を図示することができる。
	イ 複素数と方程式 ・数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすること。また、二次方程式の解の種類判別及び解と係数の関係について理解する。 ・因数定理について理解し、簡単な高次方程式の解を、因数定理などを用いて求める。	
(2) 微分法と積分法	ア 微分法 ・微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求める。 ・導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかくこと。また、微分の考えを事象の考察に活用する。	<ul style="list-style-type: none"> ・平均変化率の意味を理解し、その極限の考え方から微分係数や導関数の意味を理解することができる。 ・xのn乗の導関数、和・差・定数倍の公式等を用いて、いろいろな導関数が求められようになる。 ・接線の方程式を求めることができる。 ・関数の増加・減少及び極大・極小を調べ、3次までの関数のグラフがかけられるようになる。 ・関数の最大値や最小値を求めることができる。 ・方程式・不等式への応用を扱うことができる。 ・微分の逆の演算として不定積分を導入し、2次までの整関数の和・差・定数倍の不定積分や定積分を求めることができる。 ・定積分を用いて、直線や曲線で囲まれた部分の面積を求めることができる。
	イ 積分法 ・不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分を求める。 ・積分を用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める。	

学習指導要領		都立北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>(1) 物体の運動とエネルギー</p> <p>ア 運動の表し方</p> <p>(ア) 物理量の測定と扱い方 身近な物理現象について、物理量の測定と表し方、分析の手法を理解すること。</p> <p>(イ) 運動の表し方 物体の運動の表し方について、直線運動を中心に理解すること。</p> <p>(ウ) 直線運動の加速度 物体が直線上を運動する場合の加速度を理解すること。</p> <p>イ 様々な力とその働き</p> <p>(ア) 様々な力 物体に働く力のつり合いを理解すること。</p> <p>(イ) 力のつり合い 物体に様々な力が働くことを理解すること。</p> <p>(ウ) 運動の法則 運動の三法則を理解すること。</p> <p>(エ) 物体の落下運動 物体が落下する際の運動の特徴及び物体に働く力と運動の関係について理解すること。</p> <p>ウ 力学的エネルギー</p> <p>(ア) 運動エネルギーと位置エネルギー 運動エネルギーと位置エネルギーについて、仕事と関連付けて理解すること。</p> <p>(イ) 力学的エネルギーの保存 力学的エネルギー保存の法則を仕事と関連付けて理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・物理に必要な計算を最初に学習する。 ・自然の物理的な事物や現象の因果関係を正しく理解できる。 ・等速直線運動の向きや速度，加速度といった，運動の基礎となる量を理解し，それらを組みあわせて運動を物理学的に理解できる。 ・動きを調べる際の基準点を変えても，運動を正しく表現できる。 ・運動の原因となる力を探る過程を通して運動の法則を理解し，さらに未知の運動を解くことができる。 ・運動に関する物理学の量的関係と向きに関する関係を理解し，運動の法則に基づき，さまざまな運動の規則性を見つけることができる。 ・運動の法則に基づき，さまざまな運動を再現することができる。 ・ものを楽に運ぶ工夫，道具の使い方などを比較し，仕事をす能力について，位置，運動，熱といった一見異なるエネルギー間に換算できる量的法則性があることを理解できる。 	

学習指導要領		都立北豊島工業高校 学カスタンダード
(2) 様 々 な 物 理 現 象 と エ ネ ル ギ ー の 利 用	<p>ア 熱</p> <p>(ア) 熱と温度 熱と温度について、原子や分子の熱運動という視点から理解すること。</p> <p>(イ) 熱の利用 熱の移動及び熱と仕事の変換について理解すること。</p>	<p>・運動, 熱について個々の量的関係を理解できる。</p> <p>・運動, 熱についての事象に共通するエネルギーというとらえ方を理解できる。</p>
	<p>イ 波</p> <p>(ア) 波の性質 波の性質について、直線状に伝わる場合を中心に理解すること。</p> <p>(イ) 音と振動 気柱の共鳴、弦の振動及び音波の性質を理解すること。</p>	<p>・波動現象を, 物理量で表現することができる。</p> <p>・波動現象を表すグラフの意味を, 実際の現象と照らし合わせて説明できる。</p> <p>・音の性質を, 物理現象として説明できる。</p> <p>・波動現象を再現でき, 波動として特徴あるふるまいを指摘でき, グラフでも表現できる。</p>
	<p>ウ 電気</p> <p>(ア) 物質と電気抵抗 物質によって抵抗率が異なることを理解すること。</p> <p>(イ) 電気の利用 交流の発生、送電及び利用について、基本的な仕組みを理解すること。</p>	<p>・電気に関する基本的な概念や原理・法則を理解できる。</p> <p>・電気の基本的な概念や原理・法則を用いて系統的に考察し表現できる。</p> <p>・抵抗の接続の学習し、かつ実際に実験で確認する。</p>

学習指導要領		都立北豊島工業高校 学カスタンダード
	<p>エ エネルギーとその利用 (ア) エネルギーとその利用 人類が利用可能な水力、化石燃料、原子力、太陽光などを源とするエネルギーの特性や利用などについて、物理学的な視点から理解すること。</p> <p>オ 物理学が拓く世界 (ア) 物理学が拓く世界 「物理基礎」で学んだ事柄が、日常生活やそれを支えている科学技術と結び付いていることを理解すること。</p>	<p>・現代の文明生活に、物理学の発展がどのような影響をもたらしているのかを調べようとしている。</p> <p>・どのような物理学の発展が、具体的にどのような場面で使われているのかを指摘することができる。</p>

学習指導要領		都立北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>(1) 化学と人間生活</p>	<p>ア 化学と人間生活とのかかわり (ア) 人間生活の中の化学 日常生活や社会を支える物質の利用とその製造の例を通して、化学に対する興味・関心を高めること。</p> <p>(イ) 化学とその役割 日常生活や社会において物質が適切に使用されている例を通して、化学が果たしている役割を理解すること。</p> <p>イ 物質の探究 (ア) 単体・化合物・混合物 物質の分離・精製や元素の確認などの実験を通して、単体、化合物及び混合物について理解するとともに、実験における基本操作と物質を探究する方法を身に付けること。</p> <p>(イ) 熱運動と物質の三態 粒子の熱運動と温度及び物質の三態変化との関係について理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・金属の性質・プラスチックの利便性について理解する。 ・プラスチックの密度や燃焼の観察実験を行い、他のプラスチックの種類を調べる。 ・日常生活における化学製品・化学物質について学ぶ。 ・セッケンをつくり、合成洗剤との違いを理解する。 ・混合物と純物質について理解する。 ・蒸留の実験を通して、混合物の分離に関する基本的な操作を学ぶ。また、基本的なグラフの作成について学ぶ ・状態変化は物質の熱運動によって変化することを学ぶ ・セルシウス温度と絶対温度との関係を理解させる。

学習指導要領		都立北豊島工業高校 学カスタンダード
(2) 物質の構成	<p>ア 物質の構成粒子 (ア) 原子の構造 原子の構造及び陽子、中性子、電子の性質を理解すること。</p> <p>(イ) 電子配置と周期表 元素の周期律及び原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解すること。</p>	<p>原子を構成する基本的な粒子について理解する。 ・同位体は原子番号が同じで質量数が異なることを理解する。</p> <p>・周期表 1～20 番までの電子配置をかくことができる。 ・原子の電子式をかくことができる</p>
	<p>イ 物質と化学結合 (ア) イオンとイオン結合 イオンの生成を電子配置と関連付けて理解すること。また、イオン結合及びイオン結合でできた物質の性質を理解すること。</p> <p>(イ) 金属と金属結合 金属結合及び金属の性質を理解すること。</p>	<p>・イオンの電子配置をもとに陽イオン、陰イオンのでき方を理解する。 ・イオン式を覚える。 ・陽イオンと陰イオンの間に静電的な引力がはたらくことを理解する。 ・イオンからなる物質を組成式であらわせるようにする。 ・陽イオンと陰イオンの間に静電的な引力がはたらくことを理解する。 ・イオンからなる物質を組成式であらわせるようにする。</p> <p>・金属結合には、自由電子が関わっていることを理解する。 ・金属結晶は組成式で表されることを理解する。 ・合金を作成する実験を行い、金属の性質について理解を深める。</p>
	<p>(ウ) 分子と共有結合 共有結合を電子配置と関連付けて理解すること。また、分子からなる物質の性質を理解すること。</p>	<p>・分子を理解する。 ・共有結合は不対電子を出し合って対をつくることで形成されることを理解する。 ・分子の電子式と構造式をかけるようにする。 ・分子の構造は様々なものがあることを理解する。 ・極性をもとに、物質の性質を理解する。</p>

学習指導要領		都立北豊島工業高校 学カスタンダード
(3) 物質 の 変 化	<p>ア 物質と化学反応式</p> <p>(ア) 物質 物質と粒子数、質量、気体の体積との関係について理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相対質量について理解する ・相対質量はCの質量を12としていることを理解する。 ・分子量、敷料を原子量から確実に求められるように演習を通して理解する。 ・1mol が 6.02×10^{23} の集まりであることを理解する。 ・分子量・式量を計算できるようにする。 ・気体の 1mol は標準状態で 22.4L であることを理解する。
	<p>(イ) 化学反応式 化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・化学反応は原子の結びつきが変化することを理解する。 ・化学反応式の係数を求められるようにする。 ・化学反応式と粒子の数、質量、気体の体積の関係を計算で求められるようにする。
	<p>イ 化学反応</p> <p>(ア) 酸・塩基と中和 酸と塩基の性質及び中和反応に関与する物質の量的関係を理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アレニウスの定義による酸・塩基の分類を理解する。 ・代表的な酸、アルカリの電離式をかけるようにする。 ・酸とアルカリの反応を中和とよぶことを理解する。 ・中和によってできる物質が水と塩であることを電離式を踏まえて説明できるようにする。
	<p>(イ) 酸化と還元 酸化と還元が電子の授受によることを理解すること。また、酸化還元反応と日常生活や社会とのかかわりについて理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・酸化還元反応の定義を理解する。 ・酸化数を計算できるようにする。 ・酸化数の増加減少から、酸化還元反応を理解する。 ・代表的な酸化剤と還元剤の半反応式をかけるようにする。 ・金属のイオン化傾向を覚える。

学習指導要領		都立北豊島工業高校 学カスタンダード
(1) 宇宙に おける 地球	ア 宇宙の構成 (ア) 宇宙のすがた 宇宙の誕生と銀河の分布について理解すること。	<ul style="list-style-type: none"> 宇宙の始まりを学習し、ビッグバンや宇宙の晴れ上がりについて理解する。 かつビデオを使用し視覚的に生徒に理解させる。 宇宙の広がりや銀河の分布を学習し、宇宙の大規模構造について理解する。
	(イ) 太陽と恒星 太陽の表面の現象と太陽のエネルギー源及び恒星としての太陽の進化を理解すること。	<ul style="list-style-type: none"> 太陽のエネルギー源や太陽の表面現象について学習し、太陽の構造について理解する。
	イ 惑星としての地球 (ア) 太陽系の中の地球 太陽系の誕生と生命を生み出す条件を備えた地球の特徴を理解すること。	<ul style="list-style-type: none"> 太陽系の構造と誕生について学習し、太陽系がどのように形成されたのかを理解する。
	(イ) 地球の形と大きさ 地球の形の特徴と大きさについて理解すること。	<ul style="list-style-type: none"> 地球の形や大きさについて学習する。 地球型惑星および月のそれぞれの特徴について学習する。
	(ウ) 地球内部の層構造 地球内部の層構造とその状態を理解すること。	<ul style="list-style-type: none"> 地球の層構造を学習し、表面と内部の性質の違いを理解する。
	ア 活動する地球 (ア) プレートの運動 プレートの分布と運動及びプレート運動に伴う大地形の形成について理解すること。	<ul style="list-style-type: none"> プレートとプレートの動き、トランスフォーム断層、プレートテクトニクスについて理解する。
	(イ) 火山活動と地震 火山活動と地震の発生の仕組みについて理解すること。	<ul style="list-style-type: none"> 火山の形と噴火の様式について学習する。 地震のおこるしくみと震源断層の規模と位置について学習する。
	イ 移り変わる地球 (ア) 地層の形成と地質構造 地層が形成される仕組みと地質構造について理解すること。	<ul style="list-style-type: none"> 河川の働きと地層の形成について学習する。
	(イ) 古生物の変遷と地球環境 古生物の変遷と地球環境の変化について理解すること。	<ul style="list-style-type: none"> 化石の働き方および示相化石と示準化石を学習する。

学習指導要領		都立北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>(2) 変 動 する 地球</p>	<p>ウ 大気と海洋</p> <p>(ア) 地球の熱収支 大気の構造と地球全体の熱収支について理解すること。</p> <p>(イ) 大気と海水の運動 大気の大循環と海水の運動及びそれらによる地球規模の熱の輸送について理解すること。</p> <p>エ 地球の環境</p> <p>(ア) 地球環境の科学 地球環境の変化を科学的に考察すること。</p> <p>(イ) 日本の自然環境 日本の自然環境を理解し、その恩恵や災害など自然環境と人間生活とのかかわりについて考察すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽放射と地球放射について理解する。 ・大気のエネギー収支を理解し、大気の温室効果について考察する。 ・大気の組成、大気の圧力、大気圏の構造を学習する。 ・エルニーニョ現象とラニーニャ現象について理解する。 ・気団や季節風、日本の天気の特徴を理解する。 ・日本の自然景観と水資源の関わりについて理解する。

学習指導要領		都立北豊島工業高校 学カスタンダード
聞くこと	ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・英文の要点やトピックセンテンスを捉えることができる。 ・文脈に即して、代名詞や指示代名詞の指す「人・事・物」を判別できる。 ・JET、ALT、教員、生徒による授業内での実際の対話を聞き、「いつ、誰が、何を、どうした」と簡潔にまとめて、口頭で表現できる。
読むこと	イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。	<ul style="list-style-type: none"> ・英文の要点やトピックセンテンスを捉えることができる。 ・文脈に即して、代名詞や指示代名詞の指す「人・事・物」を判別できる。 ・文章理解のためのヒントになるフレーズ、キーワード、単語、文章等を、英文中から探し当てることができる。 ・文中に未知の語句があっても、絵や図を参考にして、推測しながら文章の要点を捉えることができる。 ・単語の発音や基本的な文章のリズムやイントネーションに気を付けて、十分な声の大きさと話することができる。 ・適切な発音、イントネーションで英文を音読することができる。
話すこと	ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・英語コミュニケーションの際に、沈黙をさけ、100%完全無欠の正しい英文法でなくても発話を試みることができる。 ・各単元のターゲット英文法を用いて、実際に自らにまつわることを英語で話すことができる。 ・JET、ALT、教員、生徒による授業内での実際の対話を聞き、「いつ、誰が、何を、どうした」と簡潔にまとめて、口頭で表現できる。
書くこと	エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で習った英文や、英語表現をモデルとして活用し、実際に自らにまつわることを英語で書くことができる。 ・英文を読んだり、聞いたりした際に、キーワードとして文字に起こしたメモを元に、トピックセンテンスの復元や要点整理の英作文ができる。 ・各単元のターゲット英文法を用いて、「いつ、誰が、何を、どうした」と簡潔にまとめて表現できる。

学習指導要領		都立北豊島工業高校 学カスタンダード
(1) 人と技術 人と技術と環境	ア 人と技術	<ul style="list-style-type: none"> 工業技術の発展が、人々に与えた効果や影響を説明できる。 作品を製作する上で、様々な発想技法を活用することができる。
	イ 技術者の使命と責任	<ul style="list-style-type: none"> 実験・実習中の事故防止のための方法を具体的に説明できる。 実験・実習報告書に必要な項目を記入し、期限までに提出することができる。
	ウ 環境と技術	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物の分類を通して、材料の特徴や再利用の方法を理解する。
(2) 基礎的な加工技術	ア 形態を変化させる加工	<ul style="list-style-type: none"> 材料の特徴とその加工法を理解する。 質量、容量、寸法などを測定する機器や器具の正しい使用方法を理解する。 手仕上げの基礎的な作業を理解し、加工することができる。 <p><機械系の加工></p> <ul style="list-style-type: none"> 金属材料等の加工の内容を理解し、加工に応じた工作機械を選択することができる。 溶かした金属を型に流し込み、製品ができることを理解する。 アーク溶接の原理及び安全に作業ができる操作手順を理解する。 <p><電気・電子・情報技術の加工></p> <ul style="list-style-type: none"> 部品や材料を工具と機器を活用して加工する方法を理解する。 屋内配線の製作を通して、電線材料の種類、構造及び特徴を理解するとともに、工具を適切に取り扱うことができる。 正しい半田付けの手順を理解し、きれいに半田付けができる。
	イ 基礎的な分析及び測定技術	<p>製品を製作するために必要な工具や道具を一覧にすることができる。</p> <p><機械系の技術></p> <ul style="list-style-type: none"> 製作図面から、その加工法を理解することができる。 CADを使い、作図から製品完成までを理解することができる。 <p><電気・電子・情報技術系の技術></p> <ul style="list-style-type: none"> 図面に従い組立や配線ができる。 <p><機械系の分析及び測定技術></p> <ul style="list-style-type: none"> ノギスを適切に用いて、直径・内径・幅・深さなどを測定することができる。 <p><電気・電子・情報技術系の分析及び測定技術></p> <ul style="list-style-type: none"> 電圧計、電流計の動作原理と接続方法を理解する。
(3) 基礎的な生産技術	ア 生産の流れと技術	<p>製品を製作するために必要な工具や道具を一覧にすることができる。</p> <p><機械系の技術></p> <ul style="list-style-type: none"> 製作図面から、その加工法を理解することができる。 CADを使い、作図から製品完成までを理解することができる。 <p><電気・電子・情報技術系の技術></p> <ul style="list-style-type: none"> 図面に従い組立や配線ができる。 <p><機械系の分析及び測定技術></p> <ul style="list-style-type: none"> ノギスを適切に用いて、直径・内径・幅・深さなどを測定することができる。 <p><電気・電子・情報技術系の分析及び測定技術></p> <ul style="list-style-type: none"> 電圧計、電流計の動作原理と接続方法を理解する。